



文学部

日本文学科

FACULTY OF LITERATURE
DEPARTMENT OF JAPANESE LITERATURE

学びの分野

日本文学 日本語学 日本文化

こんなキミに学んでほしい

日本文学や日本語学、日本文化に関わる問題に対して、
深い関心と学びの意欲がある人
日本文学や日本語の専門的な能力を身につけ、
多様化した世界や日本に対応したい人
異文化を理解するための知識や姿勢を学び、
地域社会や国際社会に積極的に参加したい人
国語科教員、日本語教師、学芸員など
日本文学・日本語のエキスパートをめざす人

ワンポイントアドバイス

「憧れの文豪について探究してみたい」
「古典から日本の文化をもっと知りたい」
「日本語を用いて、共に生きる社会を創りたい」
その最初に抱いた興味や関心を大事にすることが
充実した4年間と卒業後の将来につながります。

この学科がめざすこと

文学と言語の観点から「日本」を考え、世界に伝える

日本文学科では、「日本文学」と「日本語学」の二つの分野を中心に日本の言語と文化を探究します。日本文学の領域では、古典から近現代までの幅広い時代の文学作品を読み解く力を身につけます。日本語学の領域では、日本語の歴史的な変化や方言、さらには外国にルーツ

を持つ方に日本語を教える方法なども学びます。日本文学と日本語学を学ぶことは、過去から現代までの日本を知ること他にありません。グローバル化が進み、価値観が多様化する今だからこそ、自らが立つ場としての日本を知り、世界に発信する力を養うことができます。

3つのポイント

少人数のゼミナールで同じ興味を持つ仲間たちと切磋琢磨できる

少人数のゼミ形式の授業が1年次からスタート。古典文学、近現代文学、日本語学の三分野を、初年次から専門的に学べます。同じ興味や関心を抱く仲間たちと共に高めあうことができます。

現代社会に必要な多様な価値観を文学・語学から身につける

同じ日本という地域にも、異なる思想や文化があります。グローバル化する社会に対応するための多様な価値観を、自分の好きな日本文学、文化、日本語を通じて養えます。

教室の内外での充実した学び書を携えて町へ出よう

教室での充実した学びはもちろん、古典や近現代文学、日本語の調査探訪を行うフィールドワークを実施。また、『源氏物語』をはじめとする古典を人形劇で表現する課外活動にも参加できます。

カリキュラム



日本文学科の“学びのフィールド”



日本文学実践演習

大正大学附属図書館は、多くの「和本」を所蔵する日本でも有数の図書館です。この授業では図書館と連携して、江戸時代以前の資料を実際に学生自身が手にとって、和本の扱い方や調査方法を学ぶことができます。日本の文学や文化を次代に伝えるスキルの修得をめざします。

私の理論×実践

その時代と生きざまが、身近なものになる。

『源氏物語』に興味がある私には、初めて和本に触れる授業がとても刺激的でした。くずし字の読解はもちろん、背表紙を針と糸で縫う「和綴じ」を行って、昔の人の本に寄せる感覚が身近なものに。作品や作家を近く感じる意味では日本文学踏査の授業も忘れられません。なかでも田端文士村記念館を訪れ、芥川龍之介の写真や遺稿を見た時は、自死したという知識は学んでいたものの、自然と残された奥様の心情まで思いが至りました。文豪たちが苦悩する1人の個人として確かに存在した、という実感を大切に学んでいます。



浅井 美海
日本文学科 3年
埼玉県伊奈学園総合高等学校出身

TOPIC

資格取得の希望者を授業内外でサポート!

日本文学科では中学校・高等学校で「国語」を教える国語科教員、日本語を母語としない話者に日本語を教える日本語教師、博物館で働く学芸員などの資格取得の希望者を授業内外でサポートします。国語科教員をめざす仲間たちと授業の練習ができる「教職虎の穴」、地域の外国にルーツを持つ子どもに日本語を教える「おうだい子ども日本語教室」や、『源氏物語』、仏教文学を学ぶ研究会も行われ、夢の実現に向かって頑張る学生を学科全体でサポートしています。



卒業論文一例

- 古代和歌における色彩語の研究
― 「あを」と「みどり」の差異を中心に ―
- 泉鏡花『夜叉ヶ池』における悲恋について
- 村上春樹『海辺のカフカ』論
― 父性と「暴力」 ―
- 女性誌の見出しにおける使用語彙の特徴
― 年代差・世代差の比較を通して ―

担当教員

名前	職階	専門	研究内容
梅澤 亜由美	教授	日本近現代文学	私小説をはじめとする自己語り文学の研究。
中川 祐治	教授	日本語学、日本語教育学	日本語の語彙・文法に関する歴史的研究。地域日本語教育に関する研究。
山内 洋	教授	日本近現代文学	中島敦、文芸批評。及び「私小説」、「ノンフィクション」「第三の新人」「増田みず子」などをキーワードにした研究。
渡辺 麻里子	教授	日本古典文学	中世文学、説話文学・仏教文学、文献資料学の研究。
高田 三枝子	准教授	日本語学	音声学、社会言語学。日本語の音声的変異に関する研究。方言の研究。
田中 仁	准教授	日本古典文学	近世文学。江戸時代の和歌や歌人についての研究。
古田 正幸	准教授	日本古典文学	中古(平安朝)文学。『源氏物語』をはじめとした平安朝の物語・日記・和歌の研究。
大野 純子	専任講師	日本語学、日本語教育学	現代日本語の文法。

シラバス



<https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/>

教員情報



<https://www.tais.ac.jp/chinavi/>

@tais_nichibun